

## 防災に関する啓発活動（他区自治協の事例）

災害時の避難・誘導対策推進事業（H25）	
実施主体	東区自治協議会
概要	地域の課題解決や、防災力（自分の命は自分で守る）を高める。
内容・実績	<p>（1）地域におけるワークショップの実施  対象：4コミュニティ協議会（東山の下、下山、大形、南中野山）  実施回数：10回  参加者：282人  内容：「避難マップづくり」を通じて地域の課題を把握</p> <p>（2）防災フォーラム「みんなで考えよう自助の力～今考えるいのちを守る防災対策～」  日時：平成26年1月19日（日）午後1時30分～4時30分  会場：東区プラザホール（東区役所2階）  参加者：約250人  内容：第1部 基調講演「新潟市防災計画からみる公助・共助・自助」  第2部 パネルディスカッション「みんなで考えよう自助の力」</p> <p>（3）冊子「みんなで考えよう自助の力～今考えるいのちを守る防災対策～」作成  発行部数：170部（主な配布先：各コミュニティ協議会）  内容：災害発生時に自分自身、家族、地域がどのように対応し行動したらよいかをまとめた冊子</p>

津波避難施設の調査・確保とマップ作成・配布事業（H24）	
実施主体	中央区自治協議会
概要	各地域コミュニティ協議会における津波の際に緊急的に避難する「津波避難施設」として利用できる施設の調査、確保、及び情報を共有し、地域の防災訓練に繋げる。
内容・実績	<p>平成24年2月 各コミ協会長宛に、地域の津波避難施設の調査を依頼。</p> <p>平成24年7月 各コミ協会長宛に、地域における津波避難施設の協定の締結、配布資料への情報掲載の可否について確認依頼。</p> <p>※県の津波浸水想定図の作成が遅れたことにより、マップ化に至っていない</p>

命を守るまちあるきプロジェクト（H24～H26）

実施主体 江南区自治協議会

概要 「安心・安全」をテーマに実際に地域の標高を調べることを通して、改めて、地域の地勢や成り立ち、歴史などを知り、地域の安全性（特に水害）への関心を高める。また、その足跡として標高板を設置する。

内容・実績

- ・小学校区単位で実施。区自治協議会委員が小学校等に実施を依頼
- ・時間は全体で3時間程度
- ・地域の標高を調べる測量体験と地域の歴史などの解説（まちあるき）を組み合わせて実施する。
- ・測量体験の結果を表示板として作成し、設置する。
- ・測量体験等の実施は、建設業協会等の協力による。

**H24** 区内5小学校区で実施

- ①亀田西小学校区：平成24年8月9日（木）参加者109名 看板5か所設置
- ②曾野木小学校区：平成24年10月15日（月）参加者69名 看板10か所設置
- ③大淵小学校区：平成24年10月30日（火）参加者41名 看板2か所設置
- ④丸山小学校区：平成24年11月6日（火）参加者63名 看板2か所設置
- ⑤早通小学校区：平成24年11月9日（金）参加者59名 看板9か所設置

**H25** 区内6小学校区で実施

- ①亀田西小学校区：平成25年7月17日（水）参加者148名 看板5か所設置
- ②横越小学校区：平成25年9月10日（火）参加者141名 看板5か所設置
- ③両川小学校区：平成26年9月24日（水）参加者42名 看板2か所設置
- ④亀田東小学校区：平成25年10月26日（土）参加者61名 看板6か所設置  
※亀田東小学校区コミュニティ協議会主催
- ⑤東曾野木小学校区：平成25年11月5日（火）参加者58名 看板2か所設置
- ⑥亀田小学校区：平成25年11月8日（金）参加者101名 看板4か所設置

**H26** 区内5小学校区で実施

- ①亀田西小学校区：平成26年7月15日（火）参加者134名 看板5か所設置
- ②曾野木小学校区：平成26年9月17日（水）参加者88名 看板5か所設置
- ③両川小学校区：平成26年9月24日（水）参加者42名 看板2か所設置
- ④亀田東小学校区：平成26年10月25日（土）参加者98名 看板5か所設置
- ⑤大淵小学校区：平成26年11月4日（火）参加者32名 看板2か所設置

学校と連携した地域の防災マニュアル作り事業（H24）

実施主体	秋葉区自治協議会
概要	災害発生時に備え、迅速で安全に避難できることを目的に、コミ協と学校とで連携し、地震発生時を想定した防災マニュアルを作成する。また、作成したマニュアルに基づき、避難訓練を実施する。
内容・実績	<p>（１）他地域避難訓練視察 １回 中央区入舟小学校区自主防災会防災訓練（６月24日）を視察</p> <p>（２）防災マニュアル作成（モデル） 新関コミュニティ協議会、山の手コミュニティ協議会</p> <p>（３）上記マニュアルに基づいた避難訓練の実施 新関コミュニティ協議会（６月12日） 参加者数 約200名</p>

西蒲区火災予防緊急対策事業（H25）

実施主体	西蒲区自治協議会
概要	平成22～24年度における西蒲区の出火率が、全8区中で最も高かったことから、防火啓発ツールを作成・配布し、区民の防火意識の向上を図る。
内容・実績	<p>（１）火災予防啓発ステッカーの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30,000部作成し、区内全世帯及び事業所に配布</li> <li>・ 消防署と消防団で高齢者世帯等を訪問する際にも活用</li> </ul> <p>（２）のぼり旗の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「火の用心」のぼり旗を150枚作成し、火災予防週間や各種イベントなどの際に設置し、火の用心をPRする。</li> </ul> <p><u>※前年度に比べ、火災件数が1/3に減少</u></p>